

目指す授業づくりに向けて

No. 3

H26年 10月 22日

提案授業 1年2組 国語科
単元名：おはなしをたのしんでよう
教材名：「サラダでげんき」
授業者 宮崎 陽子

【成果】

- ・ サラダ、挿絵など視覚的にうたえる具体物があり、児童にとって分かりやすかった。
- ・ 音読の仕方や発表、ワークシートの書きぶり等、児童の意欲が感じられる授業だった。
- ・ カスタネット等を用いて間やリズムの取り方を工夫しており、音読が上手にできていた。
- ・ 課題をつかむところまで大変テンポよく進み、児童もよく聞き、流れに乗っていた。
- ・ 児童の発言に対し、「ももいろに光り出すのは?」「とうもろこしを入れるとどうなるの?」等、切り返しの発問で言葉のおさえがていねいにできていた。
- ・ 先生の優しい言葉かけや目線が子ども達に安心感を与えていた。

【課題】

- ・ 二次の授業構成として、6時に「のらねこ」と「犬」、本時は8時といっしょにした方が動物たちの登場のパターンの違いや書きぶりの違いに目を向けて読むことができたのではないか。
- ・ 本時のねらいである人物の行動をおさえるためには、もう少し本文に戻って、書いてあることを確かめながら読んでいく必要があったのではないか。
- ・ 役割演技は5人同時に行えば、お話の展開もつかめ、時間も節約できた。
- ・ 評価規準のAとBの違いについて、本時の目標を踏まえて再考する必要がある。
- ・ ワークシートのづくり。好きな動物からという指示だったが、ほとんどの子が上から順番に書いていた。
- ・ 話し合いが進みにくいペアがいたので、最初にモデルを見せてもよかった。
- ・ 前の児童の発表が終わらないうちに挙手をしたり、発言したりする児童が見られた。

【取り入れる点・次につなげる課題】

- ・ 1時間の学習の中で「書く」活動を取り入れていく。(国語以外でも)
- ・ 国語の時間における振り返り。友達の意見をきいて考えたことを話し合ったり、並行読書に生かしたり、単元や児童の実態に応じて設定していく。
- ・ 評価規準の表記の仕方。「読む」が目標の時間は、語尾を「～読んでいる」とし、どのように「読む」のかがわかる表記にする。